

事例名：RFIDによる棚卸業務改善

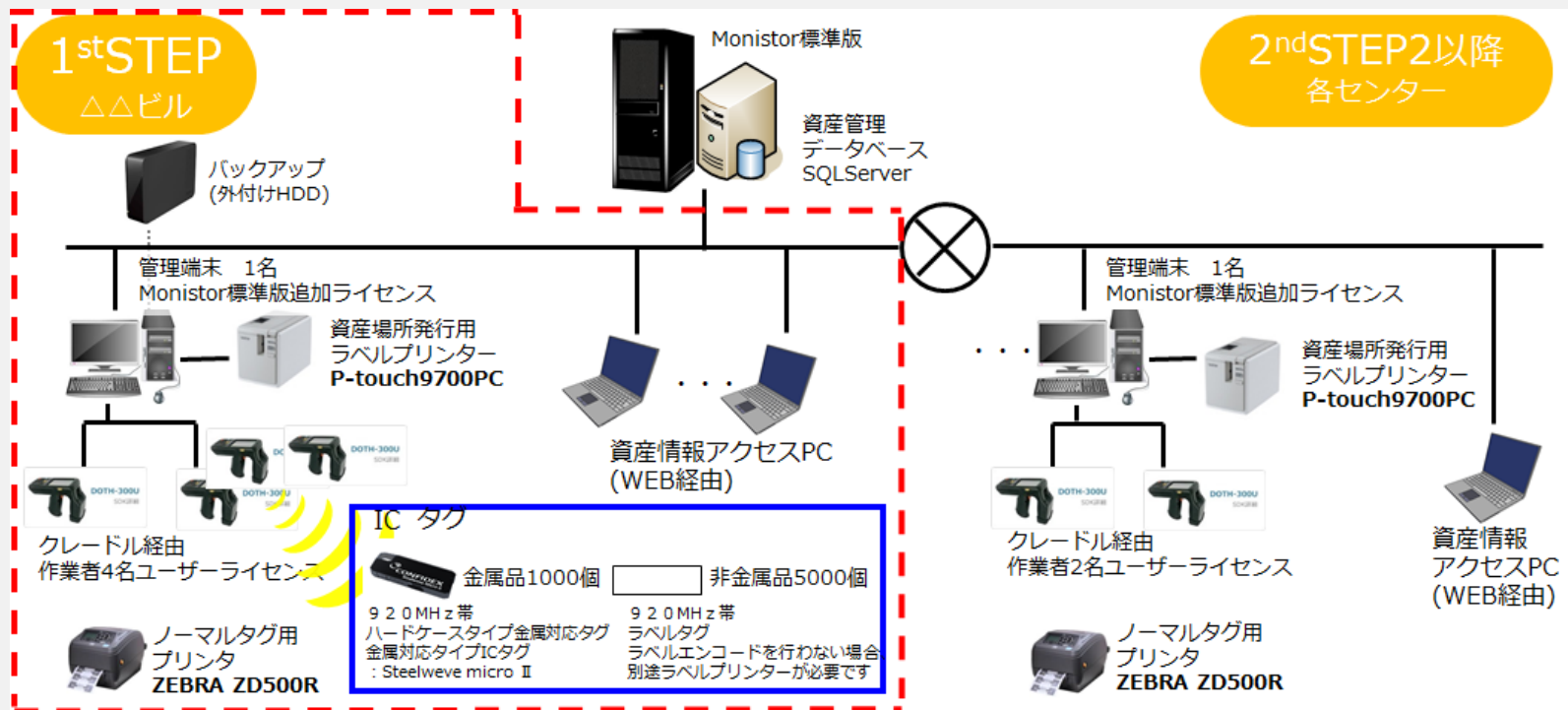
ユーザ名：サービス業

システム概要

資産管理システムパッケージ「Monistor」による

棚卸負荷軽減 資産一元化 を目的としたシステム

システム構成



構成機器

棚卸用：RFIDハンディリーダーライター 資産貼付用：金属面用ICタグ、オフィス什器用ICタグ

RFIDラベル発行プリンター、ロケーション識別ラベル発行プリンター バックアップHDD 管理端末(Monistor用)

システムの特長

- ・物品に貼付したRFID（無線ICタグ）を、RFIDリーダーでスキャンするだけでカンタンに管理できます。
- ・棚卸や利用状況の確認といった面倒な作業を効率化でき、資産の利用状況をPC上から一目で把握可能です。

導入の背景、課題、課題の解決

As-Is To-Be、および抱えていた課題

No.	現状	想定されるリスク・問題点	目指す姿
1	<ul style="list-style-type: none"> ・棚卸業務は資産ラベルを目視で確認 ・社員のいない休日、時間外での実施が必要なため、休日出勤・超勤発生 	<ul style="list-style-type: none"> ・管理番号の確認、照合を目視で行う為、効率が悪く、肉体的な負荷も大きい ・土日の複数日作業になる為、人員調整が必要であり、超勤の場合はコスト増 	<ul style="list-style-type: none"> ・棚卸業務の負荷軽減 ・超勤等コスト増の抑制
2	<ul style="list-style-type: none"> ・対象拠点に約5,000点の管理対象物品がある ・什器・OA機器の他、壁・エアコン等、固定資産を含めると多種多様である ・管理物品の種別(固定資産、備品、リース、レンタル等)と資産元が多様 	<ul style="list-style-type: none"> ・点数が多い事に加えて、管理情報の粒度が粗い品目も多く、実際の物品との突合が大変 ・設置場所や形状によっては目視に難がある品目もある ・資産元が自社ではなくても棚卸しは自社が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・棚卸時間の短縮 ・物品管理の正確性向上
3	<ul style="list-style-type: none"> ・資産管理ラベルにシールを張り、履歴確認をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・誤認識と、煩雑さが発生 	<ul style="list-style-type: none"> ・簡易な管理と作業履歴の保存
4	<ul style="list-style-type: none"> ・対象拠点、各センター毎に棚卸実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・上記1～3の問題点を各センターが持つ ・物品移動した際の管理や履歴確認が難しい 	<ul style="list-style-type: none"> ・拠点間一括のシステム管理、及びスムーズな導入

解決の効果

No.	現状	期待効果
1	<ul style="list-style-type: none"> ・棚卸業務は資産ラベルを目視で確認 ・社員のいない休日、時間外での実施が必要なため、休日出勤・超勤発生 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハンディターミナルによる電波受信により、無理な姿勢や確実な目視をすること無く棚卸業務を実施し負荷を軽減 ・業務効率が上がることにより棚卸作業に要する時間を削減可能
2	<ul style="list-style-type: none"> ・対象拠点に約5,000点の管理対象物品がある ・什器・OA機器の他、壁・エアコン等、固定資産を含めると多種多様である ・管理物品の種別(固定資産、備品、リース、レンタル等)と資産元が多様 	<ul style="list-style-type: none"> ・RFIDにより所在・数量を明確にするとともに、資産管理システムで集中管理棚卸の正確性を向上 ・タグ付けされた物品であれば1点ずつの確認を要せず、会議室や執務スペース等ブロックごとのチェックが可能 ・ICタグだけでなく、QRコードやバーコードでの資産管理も可能
3	<ul style="list-style-type: none"> ・資産管理ラベルにシールを張り、履歴確認をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資産管理システムにより棚卸履歴（いつ、誰が、どこ）を管理 ・必要に応じ、システム管理画面に情報の追加が可能
4	<ul style="list-style-type: none"> ・対象拠点、各センター毎に棚卸実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・サーバによる資産情報の一括管理や各拠点ごとの資産管理とシステム導入方法の選択が可能 ・拠点ごとに利用方法が同じため、資産の移動や貸借、棚卸担当者の異動にも対応が可能

今後の展開

・△△ビルへの導入を1stSTEPとし、STEP2以降各センターに順次導入し各部署・部門における資産管理負荷を軽減したい

導入実績 ・非公開

参考URL ・現在、自社WEBSITEに掲載なし。今後掲載予定。

お問い合わせ先

株式会社リコー デジタルビジネス事業本部
センシングソリューションセンター
事業推進室 インダストリー事業推進グループ
〒108-0023 東京都港区芝浦3-4-1グランパークタワー9階
TEL : 050-3534-3971
URL : <http://industry.ricoh.com/support/rfid/>